

科目名		授業形態	担当教員名	
地域理学療法学各論		講義	山本 克己・木澤 清行・大西 美緒・藤田 愛・ 中村 由果理・坂東 恵美子・小林 正明・酒巻 直美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
我が国が直面している最大の課題は少子高齢化である。社会の変化に伴い理学療法においても地域リハビリテーションに基づく地域理学療法のあり方が問われている。各論では、実際の地域リハビリテーションの臨床の講師による講義を行い、2年次に学習した地域理学療法学総論を基に、より深い知識の修得と、地域リハビリテーションの担い手である理学療法士として意欲を高めることを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 地域理学療法の特徴と理学療法士の役割を理解できる。 2. 高齢者や障害者の生活を深く知り、地域リハビリテーションチームの中の理学療法士の役割を理解できる。 3. 吸引療法の理論と技術を習得できる。				
授業計画				
回	内容			
1	地域ケアセミナー（但馬長寿の郷）（坂東・小林）			
2	地域ケアセミナー（但馬長寿の郷）（坂東・小林）			
3	地域ケアセミナー（但馬長寿の郷）（坂東・小林）			
4	地域ケアセミナー（但馬長寿の郷）（坂東・小林）			
5	地域ケアセミナー（但馬長寿の郷）（坂東・小林）			
6	行政における理学療法士の役割・意義について（山本）			
7	介護予防、地域包括ケアシステムについて（山本）			
8	地域リハビリテーションと起業について（木澤）			
9	訪問リハビリテーションについて（木澤）			
10	介護老人福祉施設における理学療法(1)（大西）			
11	介護老人福祉施設における理学療法(2)（大西）			
12	在宅での高齢者のリハビリテーション～生き様・死に様～(1)（藤田）			
13	在宅での高齢者のリハビリテーション～生き様・死に様～(2)（藤田）			
14	吸引療法の理論と実際(1)（中村）			
15	吸引療法の理論と実際(2)（中村） まとめ（酒巻）			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	80%	感想文を含む		
小テスト				
平常点	20%	出席状況・授業態度		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
自由記載	随時プリントを配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				